

アフタースクール Ocean's Love 茅ヶ崎
2024 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対し基準以上の広さを事業所内に確保しているが、高学年の利用者が増え手狭に感じる場面もある。プログラム内容により外部施設を活用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定員に対し基準以上の人員を確保し、かつ人数・特性によって増員している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所が2階に位置しているがエレベーターがないため、階段移動を人的にサポートしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的にミーティングを行い改善策を出したうえでスタッフ間で共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様にアンケートご協力いただき、スタッフ間にて改善策を検討している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上にて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は行っていないが、社内で評価を実施して業務改善に繋げている。来年度は支援方法に関する調査分析を外部に協力いただく予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修、外部講師を招いた研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援5領域に対応した形で複数スタッフによるアセスメントを実施し、保護者面談によりニーズを伺い、それらを基に個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			こども家庭庁より示されているアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム企画、運営をチームのなかで担当者を設置し行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			スポーツ、ワークショップ、SST、遠足など様々なプログラムを実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれの支援時間に応じてプログラムを変更し支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを基にお子さまの状況に合わせて作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前にミーティングを開催し確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後にミーティングを開催し、記録に残すことで他の職員とも共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録を日々記載し、改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に1回モニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			実施している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者(兼児童指導員)または児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		担任の先生との連絡や必要に応じてケース会議を開催している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現状、医療的ケアが必要なお子さんのご利用はない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		まだその他の福祉サービス事業所等へ移行されたお子さんはおらず、今後発生した場合には適切に情報提供する。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		実施している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		障がいのないお子さんとも一緒に同じスポーツを楽しむ機会を提供している。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		所属する事業者連絡会から担当の方が参加し、情報共有を受けている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎の際やメッセージによってお子さんの状況を相互に共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		必要に応じて行っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		実施している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じて行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会は開催していないが、保護者の方を対象にしたセミナーを実施している。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情対応担当者を設置し対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月プログラムスケジュールを配布し、年に1回会報を発行している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報ガイドラインに則り、取り扱いに十分注意している
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		状況に合わせ情報伝達ツールの活用、外国語での資料を用いている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の方々にボランティアに参加いただいております。地域団体の開催するイベントにも参加している。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを策定し共有している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		スタッフ、お子さんともに避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		委員会を設置し責任者を定め、スタッフの研修等を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		個別支援計画に記載し説明している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者様からご提供いただいた情報によりおやつを提供を行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集を作成して実施している。